

議会だより

かみやま

第46号

2020.11.15

9月定例会



- 第3回臨時会…………… 2頁
- 行政等の報告…………… 4頁
- 令和2年度補正予算、その他 …… 5頁
- 令和元年度一般会計・特別会計決算認定… 6～7頁
- 9月定例会一般質問…………… 8～13頁

・第3回・ 臨時会

第3回臨時会は、令和2年8月8日に開催した。

補正予算1件、工事請負契約の締結1件それぞれを審議し、可決した。



令和2年度 一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ

6,633万円

予算総額

64億2,932万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第2次)

総務課	● 電算用備品購入費(ウェブ会議用 カメラ、マイク、スピーカー、ヘッドホン等)	25万円
住民課	● 備品購入費(選挙管理委員会費)	344万円
	(選挙時投票所感染拡大予防対策 フェイスシールド 50個)	
	(自書式投票用紙読取機用、天地表裏反転ユニット 1台)	
	(分類棚増設ユニット 1台)	
	(制御用ノートパソコン 1台)	
健康福祉課	● 保育所施設改修工事(下分保育所)	302万円
	● 備品購入費	
	3×4.5大型テント(各保育所)	35万円
	防護服、医療用ガウン、ゴーグル購入費	37万円
	赤外線サーモグラフィ5台・非接触型赤外線温度計10個	261万円
産業観光課	● 神山町農産物販売促進事業補助金	500万円
	● 神山町持続化給付金	2,550万円
教育委員会	● 各小学校水道蛇口レバー交換 50カ所	16万円
	● 医療材料費 各小中学校へ	107万円
	(マスク、除菌用アルコール、ハンドソープ等購入費)	
	● パソコン機器等購入費(GIGAスクール対応)	2,420万円
	(児童、先生用タブレット端末)	
	(広野小学校 37台)	
	(神領小学校 94台)	
	(神山中学校 71台)	
	(収納保管庫 15台)	

議案第61号

令和2年度林道施設災害復旧事業(地すべり災害)倉羅川井峠線1号箇所
工事請負契約の締結について

1億8,040万円

9月定例会は、令和2年9月9日から18日までの10日間の会期で開催した。

令和2年度補正予算、令和元年度決算認定のほか、条例の一部改正・制定、教育委員会委員の任命、神山町名誉町民の推挙、財産の取得などを含む16件及び議員発議案2件を審議し、可決・認定・同意した。

- 令和2年度神山町一般会計補正予算（第5号）
- 令和2年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和2年度神山町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和2年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 令和元年度神山町一般会計歳入歳出決算
- 令和元年度神山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度神山町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度神山町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 令和元年度神山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- 神山温泉基金条例の一部改正
- 神山町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定
- 令和2年度神山町一般会計補正予算（第6号）
- 財産の取得
- 神山町教育委員会委員の任命
- 神山町名誉町民の推挙

■要望及び陳情

2件の要望があり、採択し意見書を提出した。

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求め
る意見書
- 所得税法第56条の見直しを求める意見書

(提出先)

総理大臣、財務大臣 ほか

15日

一般質問

森本 孝夫 議員、志甫 守 議員、白土 義信 議員、新居 榮二 議員、森 一博 議員、高橋 義英 議員

行政等の報告

国の特別定額給付金

8月24日に申請を締め切り、2,460世帯・5,173人中、2,450世帯・99・6%。人数にすると、5,162人・99・8%の給付が完了した。オンラインで18世帯、郵送及び窓口で2,433世帯の申請があり、うち1世帯1人が、給付を辞退された。行方不明など、連絡が取れなかった9世帯10人が未申請となっている。

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金の状況

生活応援給付金(町民一人あたり1万円支給)

国の特別定額給付金と同じ状況。

事業所応援給付金(飲食、宿泊、タクシー業)

対象39事業者のうち36事業者。道の駅、温泉出荷者は、対象77事業者全ての給付が完了。

神山町農産物販売促進事業補助金は現在補助金の交付申請を受付。

神山町持続化交付金

9月23日に受付を開始すべく部落会長便で、詳細を通知する。

神山温泉入浴チケット

町内全世帯2,456世帯へ案内を発送。1,356世帯が入浴チケットを受取り、8月末現在で6,986枚が、使用されている。大人は延べ3,372人、子供は延べ254人使用された。

高齢者タクシーチケット

該当者2,146人に案内を発送し、1,210人が500円券10枚綴りを受け取った。8月末現在で2,002枚が使用

された。

生活応援出産祝金

5人の出生届が出され、4人に給付、1人が手続き中。

神山の休日応援バス

8月末現在、徳島バスで439人、町営バスで95人の利用があった。

令和2年7月豪雨

長期にわたり梅雨前線が本州付近に停滞し、広い範囲で、大雨となった。全国で死者、行方不明者86人。家屋被害では全壊283棟、農林水産に関する被害額は1,100億円など甚大な被害をもたらした。神山町は山あい集落が点在しており、ひとたび災害が発生すると孤立する集落や高齢者の避難の遅れなどが懸念されることから、台風のみならず、気象条件などに左右される突発的な豪雨災害などにも、迅速に対応できるように、関係機関との連携や情報収集などを積極的に進め、万全を期したい。

地方創生関連

国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」「第2期総合戦略」に基づき、地方公共団体は、地方版総合戦略を策定することとされている。

神山町版総合戦略の「まちを将来世代につなぐプロジェクト」は、2060年の人口を見据えた息の長いプロジェクトであり、今後も続けていかなければならない。5年間の採択をいただいている内閣府の地方創生推進交付金については、2020

年度をもって事業計画期間が終了する。2021年度以降、財源を確保し、切れ目無く地方創生に取り組めるよう、第二期の神山町創生戦略の検討を進めている。現在は「すまい」「ひと」「しごと」「循環」「安心」「関係」の各分野で検討を重ねている。第二期「まちを将来世代につなぐプロジェクト」を策定し、12月定例会に議会へ報告する予定。

鮎喰川コモン

11月に大埜地住宅の敷地内において、鮎喰川コモンの運用がはじまる。子育て支援業務、小中高生の集いの場、本による読書環境づくりを中心に運用を行い、神山町の子育て環境のより一層の充実に努める。

一般会計の補正予算の概要

総務費

地域情報施設の加人者系の通信速度の拡大のための経費を計上。

民生費

ひとり親世帯支援商品券の配付の経費を計上。

衛生費

町内医療機関において無料での高齢者等インフルエンザ予防接種の経費を計上。対象は、65歳以上の高齢者、18歳未満の子供、妊婦。

農林水産費

有機野菜産地化プロジェクトにかかる経費を計上。

商工費

本名公衆便所新築工事の経費を計上。

土木費

若者定住支援住宅新築等補助金の追加申請があり、追加計上。

消防費

防災無線移設工事の経費を計上。



令和2年度 一般会計補正予算(第5号・第6号)

歳入歳出それぞれ **9,360万円増額**

予算総額 **65億2,292万円**

総務費 ● 地域情報施設管理費 (備品購入)	3,120万円
民生費 ● 委託料 (放課後児童クラブ運営委託料)	28万円
(ひとり親世帯応援商品券購入費)	175万円
● 備品購入費 (子育て世代包括支援センター備品)	100万円
衛生費 ● 委託料 (高齢者等インフルエンザ予防接種委託料)	290万円
農林水産費 ● 農業振興費 (農作物被害対策施設整備補助金)	150万円
(農山漁村未来創造事業補助金)	208万円
商工費 ● 観光費 (公衆便所建築工事費)	1,500万円
土木費 ● 木造住宅等耐震事業費 (若者定住支援住宅新築等補助金)	350万円
(神山町空家利活用改修事業補助金)	200万円
(空き家スマート化リノベーション支援事業補助金)	320万円
消防費 ● 工事請負費 (防災無線移設工事(大埜地))	405万円
● 備品購入費等 (小型動力ポンプ購入・修繕料)	440万円
教育費 ● 学校給食総務費 (修繕料(給食センター機器修繕費))	62万円

令和2年度特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険特別会計(第2号)	507万円	8億4,759万円
介護保険特別会計(第2号)	△115万円	10億6,162万円
後期高齢者医療特別会計(第2号)	100万円	1億3,573万円

人事案件・その他

○神山町教育委員会委員の任命

高橋三枝子氏 神山町鬼籠野字東分

任期 令和2年10月3日から令和6年10月2日

○神山町名誉町民の推挙

中野幸子氏 大阪府大阪市東淀川区

(神山町鬼籠野字日浦出身)

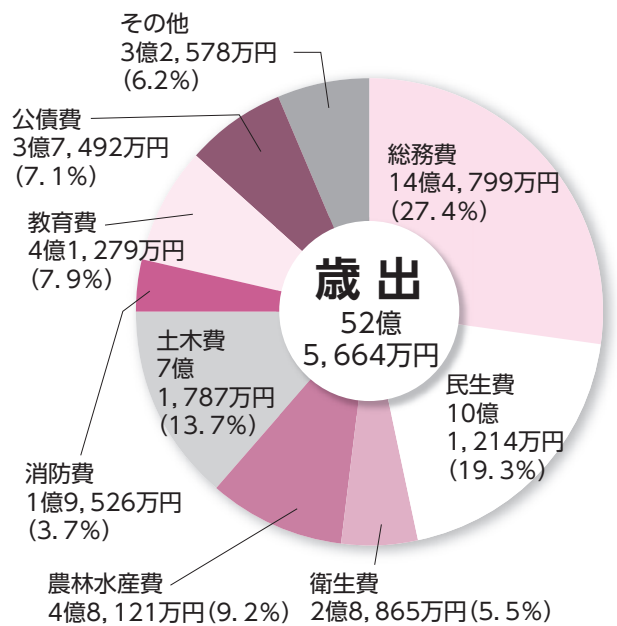
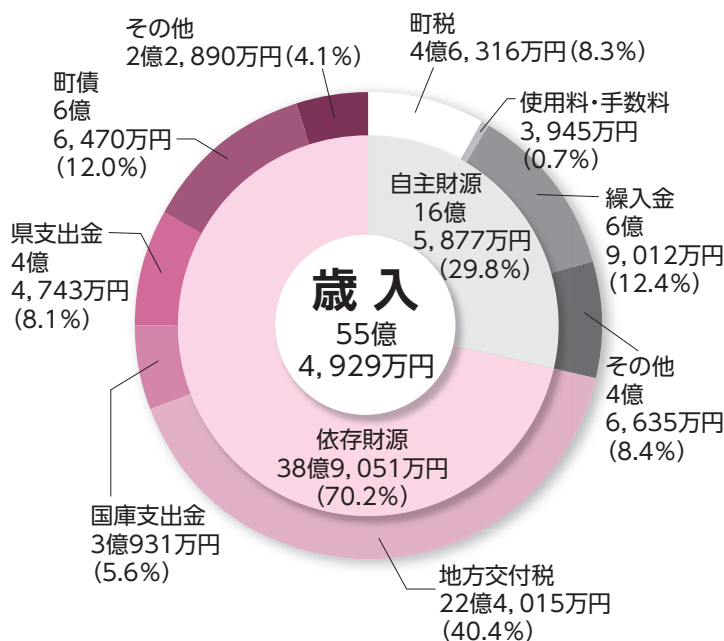
一般会計と特別会計合わせ

79億1万円を認定!!

●令和元年度決算状況

会計区分	一般会計	特別会計				計	
		国民健康保険	簡易水道事業	介護保険	後期高齢者医療		
歳入	令和元年度	55億4,929万円	8億1,296万円	3億5,420万円	10億6,477万円	1億1,877万円	79億1万円
	平成30年度	52億5,033万円	8億7,932万円	3億3,038万円	10億4,349万円	1億2,056万円	76億2,409万円
	増減額	2億9,896万円	△6,635万円	2,382万円	2,127万円	△1,790万円	2億7,591万円
	増減率 (%)	5.7	△7.5	7.2	2.0	△1.5	3.6
歳出	令和元年度	52億5,664万円	7億9,154万円	3億4,999万円	10億4,906万円	1億1,844万円	75億6,568万円
	平成30年度	49億4,540万円	8億5,281万円	3億2,679万円	9億9,378万円	1億2,029万円	72億3,910万円
	増減額	3億1,123万円	△6,127万円	2,320万円	5,527万円	△1,854万円	3億2,658万円
	増減率 (%)	6.3	△7.2	7.1	5.6	△1.5	4.5

●一般会計決算の内訳



※令和元年度普通会計地方財政状況調査に基づくもので、決算額と一致しない。

税の公平化と収納に努力を～町税等 滞納総額 1,862万円

●令和元年度の財政状況

名 称	指 数		解 説
	令和元年度	平成30年度	
財 政 力 指 数	0.2	0.2	1に近く1を超えるほど財源に余裕がある。
経 常 収 支 比 率	80.1	81.6	財政構造の弾力性を判断する指数で、75%程度に収まるのが妥当と考えられている。
実 質 公 債 費 比 率	2.3	2.0	全ての事業の公債費率で、18%以上は起債(借入金)に知事の許可が必要。

●令和元年度町税等未収金の状況

(単位：円)

区 分	未 収 金		前年との比較	
	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率 (%)
町 税	10,916,622	11,579,704	△ 663,082	△ 5.7
町 営 住 宅 使 用 料	751,300	559,800	191,500	34.2
国 民 健 康 保 険 税	6,127,644	5,664,462	463,182	8.2
簡 易 水 道 使 用 料	306,610	374,290	△ 67,680	△ 18.1
介 護 保 険 料	429,300	275,000	154,300	56.1
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	92,150	134,700	△ 42,550	△ 31.6
計	18,623,626	18,587,956	35,670	0.2

借入金や基金はいくらになっているのか

●地方債現在高(3月31日現在)
38億5,674万円

●基金残高(3月31日現在)

一 般	財政調整基金	32億6,065万円
	減債基金	9億3,066万円
	その他の基金	45億6,748万円
国 保	財政調整基金	8,311万円
	その他の基金	500万円
水 道	簡易水道事業基金	3,128万円
介 護	介護給付費準備基金	1億2,206万円
	その他の基金	0円

令和元年度 「一般会計・特別会計」決算を認定

決算額では総務費が14億4,790万円で27.4%と最も多く、次いで民生費が10億1,200万円19.3%、土木費7億1,780万円13.7%などとなっている。前年度比商工会費108.2%、教育費29.6%、土木費26.2%、農林水産費25.9%増加。要因は神山温泉施設改修工事、道の駅施設改修工事、非構造部材耐震対策工事、パソコン機器等購入費、大埜地集合住宅建設工事などによるものである。町税の収入未済額は1,091万円で、前年より66万円減少しているが尚一層の徴収に努力するよう監査委員からの指摘である。

一般質問



森本孝夫 議員

● 質問1 ● 小・中学校の設備について

小・中学校・各校はエアコンを使いながら快適な学習環境を確保し授業に取り組めると思う。現在までに、普通教室、特別教室は設置済となっているようだが小・中学校の体育館ではエアコン設置が出来ていないようで、夏場は生徒たちの熱中症も心配されると思う。今後、町としての考えは。

答弁 教育次長

現在建て替えを予定している町民体育館兼神山中学校体育館については、設置をする方向で計画を進めている。

再問

各教室の照明器具、天井板等の落下防止対策、非構造部材の耐震補強の状況はどのようになっているのか。

答弁 教育次長

教室については3校とも実施できていない。教室の非構造部材の落下防止対策については、実施する予定はないが、今後検討していきたいと考えている。

● 質問2 ● 神山温泉について

観光支援事業GOTOトラベルを使って宿泊が増えていると思うが、神山温泉とホテルの内容と県外客の宿泊予約状況は。

答弁 産業観光課長

神山温泉の利用者は7月、8月で688人の方にご利用をいただいている。

再問

町から配布している温泉利用券について、町長の行政報告で8月末現在の数を示されていたが、再度引き換え状況と利用状

況について伺います。また、夏場とコロナの影響もあったため、町民の声も多くある温泉入浴チケットの有効期限の延長はできないのか。

答弁 産業観光課長

生活応援神山温泉入浴チケットで1世帯20枚を2,456世帯、49,120枚分の引換券を配付している。7月、8月分は6,986枚を利用して頂いている。期限については、現時点での延長は考えていない。今後検討したいと思う。

● 質問3 ● 町営住宅について

神山町には町営住宅が11団地あるが、今井団地と下地団地の現在の入居状況は。

答弁 住民課長

今井団地は15世帯16人、下地団地は31世帯61人である。耐用年数や耐震の状況を考慮し、新たに入居者を募集しない政策空家として管理している。

再問

今井団地と下地団地も築50年

を経過し、耐用年数も経過している。現在応募もしていないようだが、今、入居されている人がいなくなったら、跡地をどのようにするのか。それに代わる何かを考えているのか。

答弁 住民課長

神山町公営住宅等長寿命化計画に基づき、需要等の状況により建て替えを行う方針である。



神山町営住宅

一般質問



志 甫 守 議員

●質問1● インフルエンザ予防接種 について

新型コロナウイルス感染症が、まだまだ拡大している中、これから秋冬に向かってインフルエンザが流行する恐れがある。
インフルエンザは新型コロナウイルスと感染症と症状がよく似ていると言われ、医療現場や患者の混乱が予想される。

インフルエンザ予防接種の時期を前倒しする考えはあるか。

答弁 健康福祉課長

個人が、全額自己負担を払い、予防接種を受ける場合は、接種医とご相談のうえ、インフルエンザワクチンがあれば、前倒しして予防接種を受けることは可能かと思う。

町内医療機関でインフルエンザ予防接種の自己負担が無料の対象となっている定期接種対象の高齢者等については10月1日から令和3年1月15日まで、任意接種対象の生後6か月から18歳までの子どもと妊婦については、10月22日から令和3年1月30日としている。

通常我が国のインフルエンザの流行は1月上旬から3月上旬が中心であり、ワクチンが十分な効果を維持する期間は接種後約2週間から5か月とされており、より有効性を高めるためには、一般的には10月から12月中旬までの間に行うことが適当であるとされている。ワクチンの供給事情などを、神山町医師団と相談したうえで、期間について設定したので、定期接種等についてはこれ以上の前倒しはできない。

再問

65歳以上の方・妊婦・生後6か月から18歳までの人は無料と聞か、それ以外の人は無料にならないのか。

答弁 健康福祉課長

重篤化しやすい高齢者や子ども以外の健康な方は、自分でも予防できるため、18歳から64歳の方については、検討していない。

●質問2● 新型コロナウイルス対策 について

町内の高齢者の中には、デイサービスを週に何回か利用し、サービステキニ検温している。発熱は新型コロナウイルスとよく似た症状であり、発熱がある場合はサービスを受けられないとの事。

そういった時に重症にならないよう、民生委員・包括支援センター・病院等と連携ができないか。町内の高齢者の方達が少しでも安心できるように協力はできないか。

答弁 健康福祉課長

高齢者に関わらず発熱等の症状の場合には、まずかかりつけ医等の身近な医療機関に電話相談し、医師の適切な治療、又は指示を受けていただく事が基本である。もしPCR検査を必要とした場合には、PCR検査を受けて頂く。陽性となれば、指定医療機関等への入院や軽症無症状患者の宿泊療養施設での隔離体制となり、デイサービス利用者の方も、職員に対しても感染を防ぎ、家族の方に対しても検温やマスクの着用、消毒の徹底、定期的な喚起を実施する。

再問

非常時に備えて高齢者の方がわかる医療機関や保健所への連絡方法などのパンフレットを作成してはどうか。

答弁 健康福祉課

今後検討していきたいと思う。

●質問3● 神山温泉について

神山温泉のコロナウイルス対策は万全であると思われるが、県内外問わず売り上げが減少し神山温泉がまさに過去最大の危機に瀕している。町としてどのような施策を考えていくのか。

答弁 産業観光課長

神山温泉は地域住民の健康増進、観光交流事業及び町の活性化を推進するための重要な役割を果たしている。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で想定外の経営となっている。今後、国が実施しているGOTOキャンペーンや生活応援神山温泉入浴チケット利用券など利用していただき、今後の状況を分析しながら対策していく。

一般質問



白土義信 議員

●質問1● 災害時の避難について

直近で接近した台風9号・10号、直撃は免れたが巨大化している。全国でも毎年のように豪雨災害等が発生している。本町も、いつ発生するかわからない災害だが、避難指示、避難勧告が発令された場合に、移動手段を持たない方や身体の不自由な方、高齢者の方々の避難所までの移動手段、安全確保について聞きたい。

●答弁● 総務課長

支援が必要となる要配慮者には、毎年民生委員による対象者の更新、登録作業を実施し、9月10日時点で375名の要支援者が登録されている。

避難準備情報、避難勧告が発

令された場合は、民生委員が安否確認を行い役場健康福祉課へ伝達される。単身の要支援者を対象とした安否確認訓練も実施している。自力での避難が困難な場合は、関係機関が連携して安全確保、避難実施等の措置を講じる。

要支援者の避難には時間と労力を要することから、早期での避難準備情報の発令を心掛けています。避難先での受け入れは、避難所運営マニュアル等により、対応にあたる。

●質問2● 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金について

神山温泉利用助成業務委託料、温泉利用券等について、住民の方と話をすることで1世帯6,200円分の温泉利用券を発行していただき、非常にうれしい反面、「遠いところやけん、行けんわ」とか「行きたいのに治療中で行けん」という話を聞いた。

そんな中で温泉にも使える、町内で買える物もできる商品券の発行は考えなかったのか。

●答弁● 町長

神山温泉だけでなく高齢者タクシー券についてはすでに発行して、大変喜んでいただいている。買い物利用に対する商品券発行は、第一次の地方創生臨時交付金の際にも随分検討した。神山町の商店は、神領から西の方にはかなりあるが、神領より東を考えた場合非常に少ない。これは、プレミアム商品券をたびたび発行しているが、この際にもかなり購入者が偏ってしまうという状況があった。

今回、もし商品券を発行した場合、東部地域の方々は、西の方へ向いてお買い物、ガソリンの利用等々あるが、なかなか使い勝手がよくない。これはよく考えた方がいいなということであった。

地方創生の第二次の交付金については、まだ残があるので、検討をしている。

●質問3● 温泉バスの増便の検討について

温泉利用者と話をしていた中で、17時以降に町内の方の入浴料金が安くなる。その時間に合

わせて、町営バスの乗り入れを検討していただけないか。利用客がどれくらいいるかわからないので、試験的に一定期間運行して、判断されるのもいいかと思う。いかがか。

●答弁● 住民課長

現在町営バスは役場を起点終点とする分で、一日30便、日曜祝日は一日22便運航している。このうち、平日の名ヶ平8時20分発神山温泉8時53分着の1便のみが神山温泉まで乗り入れをしている。

また、神山町から神山温泉の区間は、徳島バスが路線バスの運行を行っており、路線が競合することとなるため、徳島バスと協議を行う必要がある。また、町営バスは、委託で運行しているため、変更を行う場合には実施している事業者との協議も必要となる。

なお、町営バスは利用者が年々減少しており、増便は非常に難しい状況ではあるが、今後の利用状況により検討したいと考えている。

一般質問



新居榮二 議員

●質問1●
まるごと高専の経済波及
効果の報告書について

昨年6月の定例議会全員協議会において、突然の高専の誘致が我々議員に知らされ、その後記者会見が開催され新聞やテレビ報道で町民の皆さんが高専の誘致計画を知ることになった。8月8日には住民説明会が開催され9月定例会全員協議会では高専が開校することによる経済波及効果の報告書の説明があった。

今回の業者の選定はどのような基準や過程で選定されたのか。また内容についても到底納

得できるものではなかったが、理事者による経済波及効果の説明会を開催することは可能かどうか。また報告書の内容を知りたい町民の方がホームページ等で閲覧できるようにする考えがあるのかどうか。

答弁 総務課長

波及効果の調査については、令和元年7月に着手した。一般競争入札で実施しており、入札日時は令和元年7月22日になっており、ホームページ等において公告した結果1社高等教育総合研究所から入札参加の申し出があった。内容等を調査した結果、適正であると判断したので契約を交わし調査をした。

再問

波及効果報告書配布について、多額の町費を払ってできなかった経済波及効果の報告書を、町民の皆さんはどのように報告書が出されたのか知る権利がある。町民の皆さんに納得しただけの報告書にして、部

落会長便などで周知してはどうか。

答弁 総務課長

経済波及効果報告の結果についてはホームページ等で公表するように検討したい。

●質問2●
農地の売買について

平成29年3月定例会において、当時の同僚議員から農地の売買条件緩和について一般質問がされた。その時の質問には、全国で起っている外国人等による水源地となり得る農地や、山林の買い占めや耕作放棄地の増加といった問題の質問がされ、その質問に対して理事者から「移住者が空き家所有者の農地を買いやすくすることが、農地の利活用、流動化を促すことになる。農業委員会においてきちんと審査する。山林等については、森林法が改正されており問題ない。」との答弁だった。土地の流動化を促すという当初の

目的は達成されていると思う。農地法第4条第5条の適用案件の過去5年間の取引状況はどうなっているのか。

答弁 農業委員会事務局長

農地の転用状況過去5年間の数字を報告すると、平成27年から4条5条関係転用については34件ある。目的については太陽光発電・宅地・駐車場等に転用している。



一般質問



森 一博 議員

●質問1● 新型コロナウイルス感染症対策について

「6月議会にて避難所における運営マニュアルを早期に作成する。」との事だったが、その後どうなっているのか。台風10号の際は、どんな対応をされたのか。

答弁 総務課長

本年8月に神山町避難所運営マニュアルを策定したが、周知には至っていない。今後自主防災組織、民生委員の方々に周知を図る。台風10号の際は、消毒液、ウェットティッシュ、非接触型体温計、パーティション、簡易ベッドを避難所に配付する準備を行った。

答弁 町長

九州地方の避難所が密にならないようお断りの報道があった事を考えると、感染症対応は慎重かつ厳重で3密を考慮した設置運営になると思う。感染症と災害の重複を対応していくには、的確に運営できるよう避難所運営の訓練を住民と共に重ねる事が必要。議員の皆様にもご協力を願いたい。

再問

避難所マニュアルの、3密回避の方法や分散避難の情報共有、感染者への差別・排斥を避ける等それぞれの対処は。

答弁 総務課長

周辺確認しての自宅内垂直避難や親戚、友人宅等の避難所以外への避難を検討する。受付時の混雑解消として名簿やチェックカードの事前記入を広報・ホームページで周知啓発を行う。避難所では一人4㎡の確保や換気等の3密対策の実施、受付の検温で体調不良者を判別し別室へ誘導する。感染者や濃厚接触者は動線を分け、間仕切りスペースへ誘導する。

感染者の人權が護られるよう、移送や誘導を事前検討し、

発熱や咳のある人の場合は、ゾーニングを徹底。学校等の避難所は教室の活用、小規模な避難所ではテントや車中泊を検討する。該当者を誘導・移送する手順、医療関係者との協力体制を併せて事前確認する。

今後、開設・運営訓練、マニュアルの見直し等、いざという時に備えていく。

●質問2● 移動手段のない高齢者の 買い物支援について

町内では民間業者による移動販売を行っているが、町はこの状況に対してどの様な認識を持っているのか？より多くの困難者に対して更に安定したサービスが受けられるようどの様な支援を考えているのか。

答弁 健康福祉課長

現在生活支援体制整備事業で買い物支援マップを作成している。事業者に聞き取り、停車日時・場所を地図上へ掲載し、地域包括支援センター管理の下、要支援者への活用を目指している。

移動手段を持たない高齢者に対する支援は、高齢者等タクシー利用助成事業、高齢者路線

バス定期券購入費助成事業を行っている。介護保険・地域支援事業では、買い物代行や調理、ごみ出し等を行う住民主体によるサービスがある。自主活動として行う生活援助で、補助金により実施しており昨年12月末まで1団体が実施していたが、現在、実施事業者はない。

また、移動販売事業者への補助は、他市では単独財源により移動販売車に関する一部を補助している。現在本町で移動販売を行っている方の事も考慮し、他町村の動向を伺いながら今後検討していきたい。

今後買い物支援が必要となる高齢の単身・夫婦のみの世帯が、世帯類型の中で大きく占めていく事を踏まえ、地域住民の力を活用した生活支援を充実していく事が求められている。

鬼籠野地区では食料品を買いえる商店がない事から、7月20日より当地区有志の方と買い物支援について具体的な支援を行う為の話し合いが始まり、期待している。

鬼籠野地区の支援体制推進を基に、他の地区でも環境整備等の推進を図りたい。

一般質問



高橋義英 議員

●質問1● 鮎喰川における川遊びの マナーについて

鮎喰川は徳島県の一級河川で、県が管理しており、毎年夏が来れば鮎喰川沿いの住民は迷惑行為に頭を悩ませている。今年は例年よりたくさんの方が山に川遊びに来ていたように思う。

遊びに来てもらうのは大変なことなのだが、一部常識のない方々もいる。ごみを捨てて帰ったり、深夜に花火をあげたり、大声で騒いだり、また路上駐車もひどく、もし町民の方に何かあった時に緊急車両等の通

行の妨げになるような場所もある。最近では、食べ残しを狙ってカラスが増え、洗濯物や車、家庭菜園等の糞害の新しい相談も多く聞く。

町の防災無線も、川で聞いているとほとんど聞こえない場所もある。

マナーの悪さはひどくなるばかりになっている。来年度に向け何か対策はあるのか。

答弁 産業観光課長

対策として現時点では、道路管理者の徳島県県土整備局に道路占用許可証をいただき、徳島名西警察署に道路使用許可申請を行い、6月中旬から9月中旬までの3か月間県道にカラーコーンを設置し、啓発をしている。また、放置ごみについては、河原にごみ捨て禁止のカラーコーンを設置、駐車場と護岸の壁面にごみ捨て禁止や花火禁止の看板を設置している。

来年に向けての対策で、新たな看板を作成し、見やすい場所

に設置、啓発し、一人ひとりのマナーの向上に努めていきたい。

答弁 総務課長

防災無線が聞こえにくい場所があることは認識をしている。本町が、「住んでよかった。」「訪れてよかった。」と思われる町となるよう、町民、滞在者等に公共の場所におけるマナーの向上のため、徳島県観光協会、神山町観光協会、徳島名西警察署等関係機関と協議を行い、防災無線に限らず、あらゆる選択肢を検討したい。

再問

県管理で町としては難しい問題なのはわかるが、隣接している困っている町民もたくさんいる。対策をしてみても、それでも改善されなければ神山町独自の条例等の制定。また、ひどい場所では遊泳禁止などの処置はできないか。

答弁 総務課長

遊泳禁止については、全国に

は禁止条例はないと聞いている。



鮎喰川ゴミ捨て状況



徳島県町村議会議長会 勝浦町議会議員研修会に参加して

徳島県町村議会議長会主催による研修が勝浦町住民福祉センターで開催され、神山町議会全議員8名が参加した。講師に、新潟県立大学国際地域学部准教授の田口一博先生を招き、演題として通年議会の成果と評価について、地方創生と地方議会の役割について、新型コロナウイルス感染症対策と地方議会について研修を行った。

勝浦町議会は平成25年7月10日から通年会期制を取り入れている。会期は毎年議員の任期の開始日7月10日から翌年7月9日までの一年間で、会期を通年にするることによって、常に議会が活動できる状態となり休会中の委員会開催や災害等の事件に速やかに対応するなど、議会の活性化が期待される。

定例日を定める事により、住民とのイベントの交流が深めやすく、傍聴などにおいても、予定が組みやすくなる。会期が決まることによりサラリーマンも議員に



なれるのではないかと考えられ、議員のなり手不足解消にもなる。

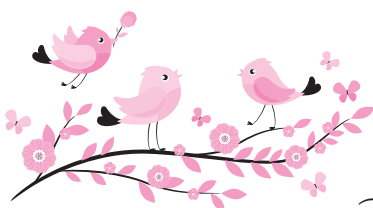
地方創生と地方議会の役割として、地域の特色・ニーズ（必要、欲求、需要）等を踏まえた、人材等の育成の取組、地域の雇用の創出・拡充に向けた、地方公共団体や地元産

業界との恒常的な連携体制の構築など、議会は地方公共団体の意思決定機関としての役割を果たすため、多様な住民の意見を反映し、集約する機能を有しており、これらの機能を十分に発揮することが求められている。

最後に新型コロナウイルス感染症対策と地方議会について。新型コロナウイルスの流行は簡単には収束しないようで、人類への脅威だが、その対応は医療関係者にお任せということではなく、一人一人がそれぞれの立場で、そのできるところを考え、実行していくことが必要と考える。

参加者全員が熱心に耳を傾け、多くのことを学ぶことが出来、今後の議会活動に生かしたいと思った。意義ある、研修であったと思う。

（森本 孝夫）



神山中学生議会



令和2年9月25日
神山町議会議場にて
神山中学生議会が開
催されました。中学
生議会は、「模擬町
議会を体験すること
により、町政を身近
に感じてもらい、地
方自治の本旨である
住民自治の姿の一端
を学ぶことを目的と
し、神山町民として
の自覚と郷土を愛す
る心を育成する。」
ことを目的に実施。
3年生11人の中で議
長滝上煌騎さん以外
の10人が質問席に進
み、観光振興策災害
対策等について質問
しました。

(河野 雅俊)

新型コロナウイルスへの議会対応

今年、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、3密を避けるため、傍聴席においても通常の約半数に制限しております。

議会活性化特別委員会では、中学生議会で、初めて議場の撮影をし別室の大型スクリーンにて視聴しました。

傍聴席にいるときほとんど変わらない感じで、伝わりました。

あくまで応急的な対応だとは思いますが今や、パソコン、スマートフォンなどがあれば、どこでもインターネット中継できる時代です。新型コロナウイルスが収束するまでは、このような取り組みも必要になり、今後議会においても検討していかなければならないと思います。

やがて皆さんの家で議会が簡単に見えるように取り組みたいと考えています。

(河野 雅俊)



リモート視聴会場

神山の 風景



前日の雨でグラウンドのコンディションも心配されましたが、神領小学校、広野小学校で運動会が行われました。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止で人数制限が行われ、少し寂しい運動会になった気がします。

そのような中、広野小学校では、ふるさと納税の使い道である教育応援事業の一環で、生徒たちが広野小学校のキャラクター（広野ふじくん）を作成し、運動会の競技種目にも取り入れました。

秋空の中、子供たちのまっすぐな気持ちに癒された運動会でした。（高橋 義英）



議会の動き

- 11月
 - 15日 議会だよりかみやま発行
 - 18日 議会活性化特別委員会
 - 26日 議会運営委員会
- 12月
 - 中旬 12月定例会
 - 議会広報調査特別委員会
 - 議会活性化特別委員会
- 17日 徳島県町村監査委員協議会役員会
- 1月
 - 2日 令和3年神山町成人式
 - 10日 令和3年神山町消防団出初式

表紙写真説明

台風一過の爽やかな秋晴れの下令和2年度神山町グラウンドゴルフ大会が10月12日に旧鬼籠野小学校グラウンドに於いて開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となる行事が多い中で、大会参加者16名の晴れやかな笑顔と活気のある会場の雰囲気、久しく忘れておりました活動的で明るい気持ちを出させて頂きました。今後も暫くは感染拡大の為に開催できない行事があると思いますが、精神的健康を保つ為できる限り今回の様な行事の開催が望まれます。（森 一博）

編集後記

今年は新型コロナウイルス感染症拡大による生活や経済への影響がまだまだ収まらず、各地各種のイベントや会合などが中止延期となっています。新型コロナウイルスへの特效薬はまだ見つかっていません。

神山町も高齢化が進む中、町民一人一人が周りに気をつけながら手洗、うがい、アルコール消毒、マスクをして感染予防を徹底し、体に気をつけていただきますようよろしく願います。（志甫 守）

賀状の自粛について

議会議員は、公職選挙法により、年賀状等これらに類する挨拶状を出すことは禁止されています。従って、法律を遵守する立場から、年賀状等の挨拶状については、ご遠慮いたしたく、ご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

議員一同